

第150回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 固定資産の取得に関する問題である。固定資産の取得は、購入代価に付随費用を加算した額をもって取得原価とされるため、購入手数料は固定資産の取得原価に含める。また、購入代価は月末支払であるため、未払金で処理する。

(借)	土 地	41,750,000	(貸)	未 払 金	41,250,000
			(〃)	普 通 預 金	500,000

※ 未払金： $¥55,000 \times 750\text{m}^2 = ¥41,250,000$
 土地： $¥41,250,000 + ¥500,000$ （購入手数料） $= ¥41,750,000$

2. 決算振替仕訳に関する問題である。決算振替仕訳は、当期のすべての収益および費用を損益勘定に振り替え、損益勘定において当期純損益を計算する仕訳である。その場合において、費用項目は損益勘定の借方に集計される。

(借)	損 益	2,800,000	(貸)	仕 入	2,800,000
-----	-----	-----------	-----	-----	-----------

3. 現金過不足に関する問題である。現金過不足勘定で処理している金額のうち、判明分は適切な勘定に振り替え、なお、残高がある場合には雑益または雑損として処理する。

(借)	旅 費 交 通 費	7,000	(貸)	受 取 手 数 料	15,000
(〃)	現 金 過 不 足	10,000	(〃)	雑 益	2,000

※ 雑益： $¥10,000$ （現金過不足） $+ ¥7,000$ （旅費交通費） $- ¥15,000$ （受取手数料） $= ¥2,000$

4. 固定資産の改築と修繕に関する問題である。固定資産の修繕等を行った場合において、資産価値を高める支出の場合には固定資産勘定で処理し、原状を維持する支出は修繕費で処理する

(借)	建 物	16,000,000	(貸)	普 通 預 金	20,000,000
(〃)	修 繕 費	4,000,000			

5. 収入印紙を購入に関する問題である。収入印紙の使用分は租税公課として処理される。なお、152回検定以降は未使用分がある場合には貯蔵品で処理する。

(借)	租 税 公 課	8,000	(貸)	現 金	8,000
-----	---------	-------	-----	-----	-------

第2問 補助簿の選択

問1 指定日の補助簿の選択

指定された日付の補助簿は下記のように選択する。

7日	(借)	仕 入	242,500	(貸)	買 掛 金	240,000
		仕入帳 + 商品有高帳			買掛金元帳	
				(〃)	現 金	2,500
					現金出納帳	

12日	(借) 売掛金 78,000	(貸) 売上 78,000
	~~~~~ 売掛金元帳	~~~~~ 売上帳 + 商品有高帳
15日	(借) 当座預金 50,000	(貸) 売掛金 50,000
	~~~~~ 当座預金出納帳	~~~~~ 売掛金元帳

問2 6月中の純売上高

¥78,000 (12日) + ¥63,000 (19日) - ¥5,000 (22日) = ¥136,000

問3 6月末における箱根商店に対する売掛金の残高

- ① 6月1日現在の箱根商店の残高
¥387,000 (売掛金勘定の残高) - ¥230,000 (東京商店の残高) = ¥157,000
- ② 6月中の箱根商店の売掛金の増減額
- ¥50,000 (15日) + ¥63,000 (19日) - ¥5,000 (22日) = ¥8,000
- ③ 6月末における箱根商店に対する売掛金の残高
①+②= ¥165,000

第3問 残高試算表の作成

平成×1年10月中の仕訳を示す。なお、二重仕訳が含まれているため、注意する。

(1) 現金に関する事項

a.	(借) 現金 300,000	(貸) 売上 300,000
b.	(借) 現金 200,000	(貸) 普通預金 200,000
c.	(借) 旅費交通費 17,000	(貸) 仮払金 20,000
	(〃) 現金 3,000	
d.	(借) 仕入 110,000	(貸) 現金 110,000
e.	(借) 前払金 180,000	(貸) 現金 180,000

(2) 普通預金に関する取引

a.	(借) 普通預金 1,130,000	(貸) 売掛金 1,130,000
b.	(1)b. にて処理済み	
c.	(借) 通信費 19,000	(貸) 普通預金 123,000
	(〃) 水道光熱費 14,000	
	(〃) 支払家賃 90,000	
d.	(借) 買掛金 910,000	(貸) 普通預金 910,000
e.	(借) 給料 450,000	(貸) 所得税預り金 23,000
		(〃) 普通預金 427,000
f.	(借) 借入金 400,000	(貸) 普通預金 402,000
	(〃) 支払利息 2,000	
g.	(借) 所得税預り金 21,000	(貸) 普通預金 21,000
h.	(借) 未払金 490,000	(貸) 普通預金 490,000

(3) 売上に関する取引

a.	(1)a. にて処理済み									
b.	(借)	売	掛	金	1,380,000	(貸)	売	上	1,380,000	
c.	(借)	売		上	10,000	(貸)	売	掛	金	10,000

(4) 仕入に関する取引

a.	(1)d. にて処理済み									
b.	(借)	仕		入	780,000	(貸)	買	掛	金	780,000
c.	(借)	仕		入	190,000	(貸)	前	払	金	190,000

(5) その他の事項

a.	(借)	貸	倒	損	失	74,000	(貸)	売	掛	金	74,000
b.	(借)	備		品	420,000	(貸)	未	払	金	420,000	

第4問 伝票会計

伝票の起票は次のとおりである。なお、解答個所を にしている。

- (1) 出金伝票の科目欄に「買掛金」が記入済みであるため、全額を掛けで仕入れたと考え振替伝票に記入し、その後、掛代金を現金で支払ったと考え出金伝票に記入する。

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	100,000	仕入	400,000	買掛金	400,000

- (2) 問題文より顧客負担の送料は売掛金に含めるという指示より、出金伝票の科目欄は売掛金となる。また、振替伝票において販売の記入を行うことになる。

出金伝票		振替伝票			
科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	4,000	売掛金	550,000	売上	550,000

第5問 精算表の作成

決算整理仕訳は以下のとおりである。

1. 商品の返品

(借)	買	掛	金	70,000	(貸)	仕	入	70,000
-----	---	---	---	--------	-----	---	---	--------

2. 小口現金の記帳

小口現金を使用した場合には適切な勘定科目に振り替える。なお、小口現金の補給は翌期に行われる点に注意が必要となる。

(借)	消	耗	品	費	3,000	(貸)	小	口	現	金	7,500
(〃)	旅	費	交	通	費	4,500					

3. 土地の売却

土地を売却し、売却代金を仮受金で処理しているため仮受金を減額し、売却金額と土地の売却簿価との差額を固定資産売却益で処理する。

(借) 仮受金	1,300,000	(貸) 土地	1,200,000
		(〃) 固定資産売却益	100,000

※ 土地(売却簿価) : $\text{¥}2,400,000$ (残高試算表土地) $\times 1/2 = \text{¥}1,200,000$

固定資産売却益 : $\text{¥}1,300,000$ (売却代金) $- \text{¥}1,200,000$ (売却簿価) $= \text{¥}100,000$

4. 保険料の解約

(借) 未収入金	75,000	(貸) 保険料	75,000
----------	--------	---------	--------

※ $\text{¥}180,000 \times 5$ か月 (12月~4月) /12か月 $= \text{¥}75,000$

5. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	4,400	(貸) 貸倒引当金	4,400
-------------	-------	-----------	-------

※ { $\text{¥}420,000$ (残高試算表受取手形) $+ \text{¥}300,000$ (残高試算表売掛金) }

$\times 2\% - \text{¥}10,000$ (残高試算表貸倒引当金) $= \text{¥}4,400$

6. 売上原価の算定

(借) 仕入	480,000	(貸) 繰越商品	480,000
(借) 繰越商品	330,000	(貸) 仕入	330,000

7. 減価償却

(借) 減価償却費	180,000	(貸) 建物減価償却累計額	30,000
		(〃) 備品減価償却累計額	150,000

※ 建物減価償却累計額 : $\text{¥}800,000$ (残高試算表建物) $\times 90\% \div 24$ 年 (耐用年数) $= \text{¥}30,000$

備品減価償却累計額 : $\text{¥}750,000$ (残高試算表備品) $\div 5$ 年 (耐用年数) $= \text{¥}150,000$

8. 給料の未払い

(借) 給料	45,000	(貸) 未払給料	45,000
--------	--------	----------	--------

9. 利息の前払い

(借) 前払利息	37,500	(貸) 支払利息	37,500
----------	--------	----------	--------

※ $\text{¥}1,000,000$ (残高試算表手形借入金) $\times 4.5\% \times 10$ か月 (翌年1月~10月) /12か月 $= \text{¥}37,500$